



第一礼拝次第

メッセージ: 郭永東牧師

前奏	5 4 0	会衆
主の祈り		会衆
プレイズ	「御名を掲げて」 「主イエス神の愛」	会衆
聖書朗読	士師記 17 章 1 節～6 節 (旧約聖書 p411)	司会
祈賛	9 0	司会
メッセージ	「自分の目に」	会衆
祈賛	3 3 3	司会
報頌	新生 6 7 2 b	司会
祝		司会



第二礼拝次第

メッセージ: 伊禮信義先生

メッセージ: 「主権は神のもの」

聖書: エレミヤ書 18:1～11(旧約聖書 p.1210)

プレイズ: 「主イエス様はぶどうの木」

「待ち望め主を」

賛美: 新生 586 新生 484



ファミリー礼拝

お話し: 渡真利彦文牧師

聖書: マタイ 26:36～56

メッセージ: 「ゲッセマネの祈り」

<巻頭言>

「何を守るよりも」

牧師 郭永東

超音波やCT、内視鏡など、人体の内部を観察する健康チェックシステムは進化しています。これらは健康を脅かす要因を事前に発見し、排除する予防医学がますます進歩しています。

その結果、人間の寿命は延びています。しかし、問題は心の病です。

心の状態を観察する聴診器は存在しないのでしょうか？心をどのように覗き見ることができるのでしょうか？聖霊の助けが必要です。聖霊は心で起こることを敏感に点検するよう助けてくださいます。罪の本性どおりに生きようとする傾向が内面に根を下ろしています。そのまま放置すると問題が複雑になります。怒りと不平、嫉妬心、憎しみ、怒り、対立などをそのままにしておくと、生活は片側に傾いてしまいます。不安定な心の状態では、正しい選択と決断をすることができません。批判的な心であれば、魂の状態は既に健康な状態ではありません。恵みが満ちているときは、自分の心の中に内的な平安と秩序と感謝で満たされます。神の言葉もまた、魂を覗き見るための別の優れたツールです。

言葉は鏡のような役割を果たします。言葉には心の奥深いところを洞察する力があります。言葉の光が照らされると、心の小さなごみも見えます。自分の心を深く覗き見ることができれば、それは恵みです。心の声に耳を傾けなければなりません。心の傷をいたわってやらなければなりません。憎しみ、怒り、嫉妬などを軽く乗り越えてしまっただけではいけません。聖書は心に焦点を当てています。神は正直な心を望まれます。熱意よりも動機が重要であり、外的な態度よりも心の習慣がより重要です。

『何を守るよりも、自分の心を守れ。そこに命の源がある。』(箴言 4:23)。